

Ev-009

会場 : C510

時間 : 6月8日 11:30-11:45

## 磁気嵐時における放射線帯内帯粒子のダイナミクス

### Dynamics of energetic particles in the inner radiation belt during magnetic storms

# 森岡 昭[1], 三好 由純[1], 小原 隆博[2]

# Akira Morioka[1], Yoshizumi Miyoshi[2], Takahiro Obara[3]

[1] 東北大・理・惑星プラズマ大気, [2] 通総研・平磯

[1] Planet. Plasma and Atmos. Res. Cent., Tohoku Univ., [2] Planet. Plasma and Atmos. Res. Cent., Tohoku Univ., [3] Hiraiso Solar Terrestrial Res. Ctr., CRL

磁気嵐時の放射線帯内帯のプロトンと電子のダイナミクスを, 人工衛星 NOAA12 およびあけぼの衛星データを用いて解析した。磁気嵐の主相においては, プロトン(80keV)はL=2の領域まで極めて短時間の間に inject されていることが明らかにされた。また, 電子(30~300keV)については, 外帯電子が消失するのと同時に内帯でスパイク状に増大していることが示された。